

# 令和5年度上期事業報告について

## 1. 令和5年度上期事業報告

令和5年度の我が国経済は、コロナ禍から回復傾向となり経済社会活動の正常化が進み、緩やかな財政・金融政策などが下支えの要因となり、物価高の下でも景気回復が継続し緩やかな成長が続くと期待されています。

こうした中、本年度上期の当組合管轄の貨物取扱い実績は、**2,483,766**トンで、前年度上期の**2,449,763**トンと比較して、**34,003**トン増加し、前年度上期比**101.4%**の取扱いとなりました。

野積場の貨物構成では、木材の取扱いが**4,812**トンと前年度上期に比べ減少し前年度上期比**20.4%**となりました。鋼材は輸出入・内貨併せて**44,431**トンと前年度上期比**91.8%**で、その他の一般貨物は、輸出入・内貨・RORO シャーシ併せて**731,599**トンの前年度上期比**101.6%**と好調です。

市原地区では、内貨スクラップ・鋳滓等は**151,800**トン取扱い前年度上期比**88.4%**と減少し、北袖ヶ浦地区においても内貨スクラップの取扱いが減少し前年度上期比**80.7%**となりました。

完成自動車は、輸出入・国内車併せて**120,349**台取扱いしました。内訳は輸入車が**15,771**台と前年度上期比**120.1%**と好調。輸出車は**0（ゼロ）**で国内車は**104,578**台の前年度上期比**105.5%**となりました。

完成自動車のトータルは前年度上期の**112,308**台から**8,041**台増加し、**120,349**台で前年度上期比**107.2%**となりました。

上屋・テント倉庫については、**57,237**トンの取扱いで前年度上期と比べ**11,422**トン減の**83.4%**となりました。

コンテナ貨物は、実入り・空バン合計で**29,905**TEUを取扱い前年度上期の**27,916**TEUから**1,989**TEU増加し、前年度上期比の**107.1%**となりました。